

第2回 耐震補強フォーラム(案)

阪神・淡路大震災では、地震直後に命を落とした5,500人のうち83%以上は建物や家具の下敷きになった窒息死・圧死です。これに、おそらくは建物、家具の下敷きになって焼死した人を加えると96%以上になります。

地震国日本の耐震補強は、医療や消防、警察と同じように、国民の生命を守るセーフティネットです。これこそ、阪神・淡路大震災の最大の教訓だと私たちは考えます。

2005年6月19日に行われた「第1回耐震補強フォーラム」(主催：耐震補強フォーラム実行委員会)では、地域が一体となって耐震補強に取り組む重要性が確認されました。また、信頼できる耐震診断、補強工法、検証方法の開発、実際に補強を行う建築士・工務店の技術の向上が重要であることが明らかになりました。

第1回のフォーラムで提言された内容をさらに深め、また国、自治体の政策と連携して具体的な活動に結びつくことを目的に、下記により「第2回耐震補強フォーラム」を開催します。

記

1. 日時：平成17年11月9日(水)及び11日(金)
2. 会場：東京ビッグサイト(有明・東京国際展示場)東6ホール
3. フォーラム概要
 - 11月9日(水) シンポジウム1
 - ・13時 基調講演 目黒公郎氏(東京大学教授)
 - ・15時15分 パネルディスカッション「耐震補強 - いかに顧客の心をつかまえるか - 」
コーディネータ 鍵屋 一
 - 11月11日(金) シンポジウム2
 - ・13時 基調講演 安井潤一郎氏(衆議院議員)
 - ・14時15分 パネルディスカッション「いのちを守るから、まち継続計画へ」
コーディネータ 藤村望洋
4. 主催 耐震補強フォーラム実行委員会
代表者 後藤洋三(土木学会)、中林一樹(日本建築学会)、安井潤一郎(NPO 法人 東京いのちのポータルサイト)
5. 入場無料
6. 後援予定(申請中含む)
内閣府・総務省消防庁・国土交通省・東京都・日本建築防災協会、土木学会・日本建築学会・地盤工学会・日本損害保険協会、日本建築家協会、日本建築士会連合会、東京都建築士事務所協会、東京建設業協会、NPO 法人東京いのちのポータルサイト、NPO 法人都市災害に備える技術者の会、

以上

耐震補強フォーラム実行委員会設立趣旨について

近年、首都圏各地で、NPOや市民団体、商店会等による「まちづくり活動」が活発に行われている。それらの関心事は、福祉、教育、環境、防犯等々、様々であるが、いずれも、自分たちの身近な地域の問題を自分たちで解決しようとする活動である。こうした取り組みをしている様々な団体、個人が、「地域防災」を共通のテーマにして連携するネットワークを作ろうと、2002年8月、「地域、民間主導の防災ネットワーク～東京いのちのポータルサイト」(理事長：安井潤一郎早稲田商店会長)が立ち上がった。

NPO法人「東京いのちのポータルサイト」は、その後、「耐震補強委員会」という自主勉強会を設置、月一度のペースで勉強会を重ねるとともに、メンバーが、それぞれの地域で、市民勉強会を開催する、自治体や議会に耐震補強促進を働きかける、あるいは建築士、工務店等とのネットワークを構築する等の活動を重ねてきた。その中から、耐震化の重要性を子供たちにもわかりやすく説明する絵本を制作したり(<http://www.tokyo-portal.info/taishin/ehon.html>)、あるいはメンバーが地域で講習会を行う際の教材CDを作成する等、成果を全国各地に広めるための仕掛けも出てきたところである。

一方、政府においても、震災に対する減災目標の設定、耐震化目標の設定等、成果を重視する新たな動きが出てきたことから、「東京いのちのポータルサイト」においても「住宅の耐震化を進めよう」という、一般的啓発の段階から、地域・民間主導というNPOの理念のもとで、耐震化を一層推進するための具体的な取り組みを、政策提言を行うことも含めて、検討、実践していくべきであるとの認識が高まった。

そこで本年1月、建築学会、土木学会と共同開催の形式で、「市民が学会とともに考える東京の地震防災」を開催した。(<http://www.tokyo-portal.info/10years/index.html>)この行事で、NPOのメンバーと両学会に所属する研究者、さらには内閣府幹部等が一堂に集い、今後の連携の必要性を確認することとなり、最後に採択された「宣言」において、「市民主導の『耐震補強フォーラム』を設立しよう。」という事項がトップに盛り込まれた。

個人の所有物である住宅の耐震化を進める上では、政策面での対応だけではなく、地域での取り組み、市民・民間主導の取り組みが重要であり、そのためには、平常時からまちづくり活動等を行っているNPO、住宅関係の工事に関する地域の専門家である工務店、建築士等が、耐震化推進の目標を共有し、相互に連携することが求められる。連携するための場を設けることで、お互いの情報交換や、政府の政策の動向、学会における研究成果、最新情報を共有することが可能となる。上記イベントで想定していた「耐震補強フォーラム」は、そのようなゆるやかなネットワークを構築しようとするものであった。このイベント終了直後から、イベントを企画、運営したNPO、学会関係者が中心となってフォーラム開催に向けた会合を重ね、実行委員会設立となったものである。

この趣旨に基づき、6月19日に第1回耐震補強フォーラムが実施された。今回、同じ実行委員会により「第2回耐震補強フォーラム」を開催するものである。